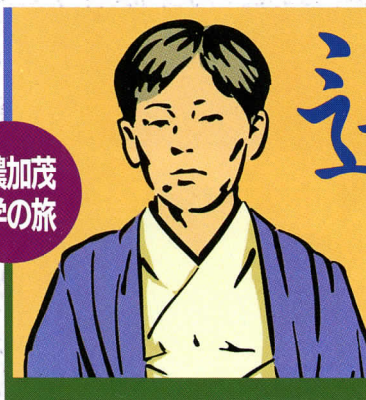


坪内逍遙 ポケット マップ

美濃加茂
文学の旅



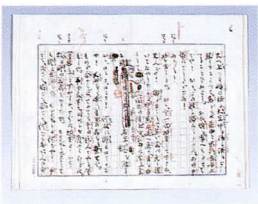
あ
の
こ
ろ
、「
文
豪
」
は
タ
マ
ゴ
で
し
た。

安政六年（一八五九）、
 ここ美濃加茂の地に生
 まれた坪内逍遙。江戸
 時代以来の勧善懲悪主
 義が主流だった明治初
 期の文壇のなかで、人
 間の心の葛藤をありの
 ままに描く写実主義を
 提唱し、日本の近代文
 学に計り知れない影響
 を与えた文豪です。
 東京大学卒業後、二六
 歳にして、革新的な文
 学論『小説神髓』や、
 小説『当世書生気質』
 を著した逍遙。その功
 績は文学の世界ばかり

シェークスピア作「ロミオとジュリエット」
 逍遙自筆原稿



『当世書生気質』



虚空蔵堂前(大正8年)

未^{みつじ}生まれの 紙食い虫 坪内逍遙 その人と作品



「柿樹下の尉、池辺の姥」



遺品

ではありません。早稲
 田大学教授、早稲田中
 学校校長として、教育
 の分野にも尽力。また
 二〇年がかりで『シェ
 ークスピア全集』の完
 訳に取り組み、演劇の
 世界にも偉大な足跡を
 残しました。
 逍遙が美濃加茂で過
 したのは、わずか一〇
 年に過ぎませんでした。
 しかし、書や絵を
 愛し「未^{みつじ}生まれの紙食
 い虫」と呼ばれた幼き
 日々こそが、文豪の原
 点だったのです。

文学の旅

Route Guide

美濃太田駅

坪内逍遙の胸像

約900m 徒歩約12分

祐泉寺・逍遙の歌碑

約250m 徒歩約3分

旧太田脇本陣林家住宅

約800m 徒歩約10分

逍遙公園

太田小学校「山椿逍遙の部屋」

約350m 徒歩約4分

虚空蔵堂のムクキ

約30m 徒歩約1分

木曾川河畔

約900m 徒歩約12分

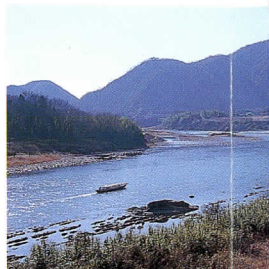
逍遙の姉「錠」の墓

約5km 車約7分

蜂屋小学校(逍遙作・校歌歌碑)



◎虚空蔵堂のムクキ
幼い日の記憶に残るムクキの老木。晩年、帰郷した逍遙は、この前でゆかりの人々と記念写真を撮りました。



◎木曾川河畔
その美しさから、別名、日本ラインと呼ばれる木曾川。この清流のほとりて、逍遙は、幼年期を過ごしました。

◎逍遙公園
生家のあった太田小学校校庭の一角。園内には逍遙の顕彰碑が建てられています。



◎坪内逍遙の胸像
まちの玄関口JR美濃太田駅前にあります。威厳のなかにもどこかやさしそうな表情が印象的。

ここが逍遙のふるさとです。
ページをめくるように、あの街角をまがりたい。
幕末の動乱期、太田代官所の手代の子として生まれた坪内逍遙(別号)。美濃加茂のまちは、文豪の幼年時代を、やさしく包んできました。遠く故郷を離れても、美濃加茂をこよなく愛した逍遙。だから、今もまちの隅々に逍遙の思いが息づいています。



◎祐泉寺 逍遙の歌碑
木曾川をのぞむ古刹・祐泉寺。晩年、逍遙が故郷への思いを詠んだ二首の歌碑が建立されています。

◎旧太田脇本陣林家住宅(重文)
逍遙の故郷、太田は旧中山道の宿場町。脇本陣がかつての面影を伝えています。

◎逍遙の姉「錠」の墓
太田町の蔵之内墓地には、逍遙のひとつ上の姉、坪内錠(戒名「妙教聖女」)が静かに眠っています。



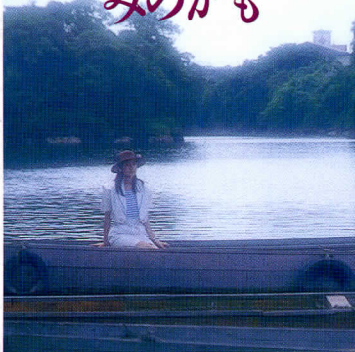
◎蜂屋小学校
(逍遙作・校歌歌碑)
ふるさとへの思いを込めて作詞した蜂屋小学校の校歌は、今も児童たちによって歌い継がれています。



MINOKAMO City

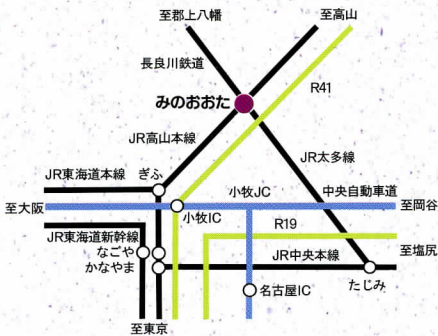
●蜂屋小学校

逍遙のふるさと みのかも



濃尾平野を流れる木曾川の上流部に広がる“水と緑のまち”美濃加茂市。ここには、飛騨木曾川国定公園にも指定された風光明媚な自然と、旧中山道の宿場町として栄えてきた歴史・文化の香りがまちいっぱいにあふれています。さあ、歩いてみませんか。逍遙が生まれ、そして晩年まで思いを馳せたこのまちを。

交通アクセス



■鉄道／JR岐阜駅より高山本線美濃太田駅まで特急で約20分 名鉄名古屋駅より日本ライン今渡駅まで急行で約40分

■マイカー／名神高速小牧ICより約30分
中央自動車道多治見ICより約30分

発行／美濃加茂市教育委員会
坪内逍遙博士顕彰会

TEL 0574-28-1110(代)

〒505-0004 岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋3299-1